メディアリリース

IOSCO/MR/26/2021

マドリード、2021 年 10 月 11 日

IOSCO 世界投資者週間が投資者保護のための投資者教育の重要性を提起

証券監督者国際機構(IOSCO)は、10 月 10 日に第 5 回世界投資週間を閉幕し、世界中の支持者が熱心に参加した。法域によっては、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが現地の金融市場や投資家に与える影響に対応するために、10 月または 11 月に世界投資者週間関連の活動を行うかもしれない。

このキャンペーンに参加している多数の法域と多様な利害関係者は、世界中で投資者教育と投資者保護の重要性が高まっていることを強調している。さらに、この成長は、世界的なパンデミックと個人投資家が利用できるサービスと製品のデジタル化の増加を背景にしている。

この点に関して、IOSCO 世界投資者週間キャンペーンの主要メッセージは、1)サステナブルファイナンス(持続可能な社会を実現するための金融)と 2)詐欺及び詐欺の防止という 2 つのテーマに焦点を当てた。これらのメッセージは、オンライン投資、デジタル学習および投資の基本に関して過去に実施した IOSCO 世界投資者週間のメッセージを補完するものであり、これらはすべて 2021 年のキャンペーンで再掲された。

アシュリー・オルダーIOSCO 代表理事会議長兼香港証券先物委員会 CEO は、「投資者保護は IOSCO の活動の中核的な目的の一つだ。世界投資者週間は、投資者がより多くの情報を得られるよう支援し、変化する環境下での投資者保護を強化する上で重要な役割を果たしてきた。2021 年の世界投資者週間に参加された IOSCO メンバー及び関係者の皆様に感謝するとともに、今後の世界投資者週間イベントに引き続き参加されることを期待する。」と述べた。

マーティン・モロニーIOSCO 事務局長は、「個人投資家は投資対象の商品を理解し、詐欺や詐欺の可能性を特定する準備をしなければならない。IOSCO 世界投資者週間は、投資者教育の観点から行動を必要とする可能性のあるこれらの問題やその他の問題に対する認識を高めることに役立っている。これは特に、新規および若い投資家にとって重要である。来年の IOSCO 世界投資者週間が、個人投資家の市場における知識と信頼を引き続き支援することを期待している。」と述べた。

IOSCO の個人投資家に関する委員会(第８委員会)のパスクアーレ・ムナフォ議長は、「IOSCO は世界投資者週間を実施するたびに、資本市場における個人投資家の売買のた

めの強固で信頼できる環境を強化すると同時に、サステナブルファイナンス（持続可能な社会を実現するための金融）のような新たなトレンドや新たな課題への理解を促進するために、新たな構成要素を追加している。」と述べた。

第8委員会世界投資者週間ワーキンググループのコーディネーターであるジョゼ・バスコ氏は、「IOSCO 世界投資者週間は今や、投資者保護と金融リテラシーに関する重要なメッセージを世界レベルで広めるための確立されたプラットフォームとなっている。これには、数十の法域の共同作業と、投資者保護と金融教育当局の国際ネットワークの効率的な協力が含まれる。我々は全ての参加者が世界投資者週間 2021 に貢献したことに感謝する。特に、IOSCO 世界投資者週間ワーキンググループのメンバーが、IOSCO 事務局の支援を得てキャンペーンを計画し実行するために時間とエネルギーと資源を割いてくれたことに感謝する。」と述べた。

昨年同様に、IOSCO はキャンペーンの結果を報告書で公表する。これは、金融教育と投資者保護に関して IOSCO 加盟国および関連する利害関係者の経験から学び、利益を得たいと望む法域および利害関係者にとって、追加的な情報源である。

NOTES TO THE EDITORS については省略。